

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①: 教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されているか。

（観点に係る状況）

本校の教育の目的に沿って、準学士課程（編入学を含む）及び専攻科課程への入学者選抜に対する入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を明確に定めており、学校総覧に理解されやすい平易な言葉で明記されている（資料 4-1-①-1～2）。本校教職員への入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）の周知は、学校総覧の配布によって行っている。教職員に対しては、アンケート調査を実施して周知状況を把握しているが、約 8 割が「知っている」と回答していることから、周知レベルは良好と言える（資料 4-1-①-3～4）。

将来の学生を含めた社会に対しては、学校説明会、入試説明会、中学校訪問、中学生一日体験入学等で学校総覧や学生募集要項（資料 4-1-①-5）を配布し、公表し広く周知を図っている（資料 4-1-①-6）。また、高等学校からの編入学についても、編入学生募集要項に入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明記されている（資料 4-1-①-7）。更に、本校ウェブページにも入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を掲載し、公表している（資料 4-1-①-8）。

資料 4-1-①-1

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

本科

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 学校総覧，p. 2）

資料 4-1-①-2

専攻科

1. 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
2. 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
3. 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

（出典：平成 25 年度 学校総覧，p. 2）

資料 4-1-①-3

教職員アンケート調査用紙（アドミッション・ポリシー周知状況）

★マークのしかた



鶴岡高専の教育目標等に関する教職員用アンケート（回答用紙）

以下の項目について、考えをお聞かせ下さい。

〔記入上の注意事項〕 ・該当するマーク部分をHB以上の鉛筆または黒ペンで濃く染めてください。

(1) 職種を教えてください。

 教員 職員

(2) 所属学科 教員の方のみお答えください。

 総合科学科 機械工学科 電気電子工学科 制御情報工学科 物質工学科

(3) 所属課 職員の方のみお答えください

 学生課 総務課 企画室 教育研究技術支援センター その他

(4) 本校の校訓を知っていますか。

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(5) 本校の基本教育目標を知っていますか。

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(6) 本校の養成すべき人材像を知っていますか。

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(7) 準学士課程の卒業時に身に付けるべき能力（本科の学習・教育到達目標）を知っていますか。

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(8) 専攻科課程の修了時に身に付けるべき能力（専攻科の学習・教育到達目標）を知っていますか。

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(9) 準学士課程のアドミッション・ポリシー

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

(10) 専攻科課程のアドミッション・ポリシー

 よく知っている ある程度知っている あまり知らない まったく知らない

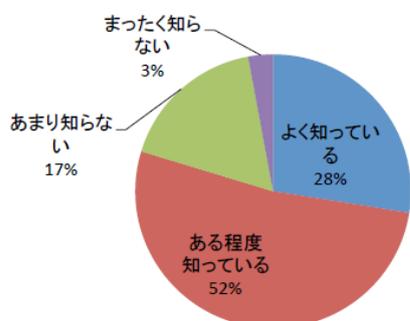
アンケートにご協力ありがとうございました。

(出典：FD 委員会資料)

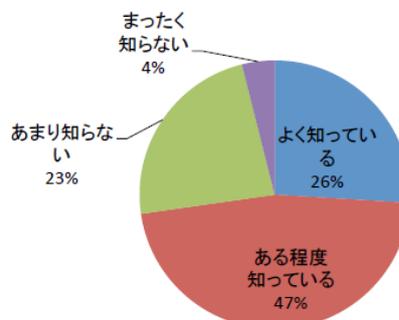
資料 4-1-①-4

教職員アンケート調査結果（アドミッション・ポリシー周知状況）

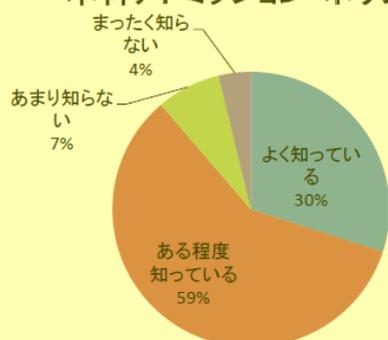
本科の学習・教育到達目標



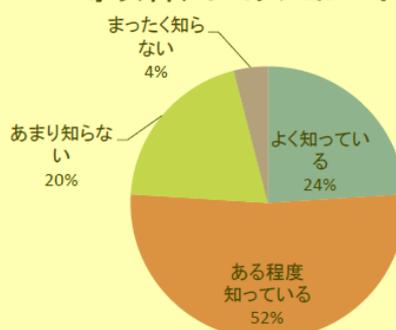
専攻科の学習・教育到達目標



本科アドミッション・ポリシー



専攻科アドミッション・ポリシー



（出典：FD 委員会資料）

資料 4-1-①-5

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 技術や科学に関心があり，社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く，数学，理科，国語，英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し，目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 学生募集要項，p. 1）

資料 4 - 1 - ① - 6 続き

学校総覧・学生募集要項配布先一覧

チラシ: 学生募集・学校説明会

学生募集・学校説明会ポスターも各1部添付

市町村	中学校	人数	要項	パン	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パン	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パン	チラシ	要学	市町村	中学校	人数	要項	パン	チラシ	要学		
山形市	第一	167	5	5	5	5	西川	河北	162	3	3	3	3	最上	鮭川	42	2	2	2	2	西国	小玉川	10	2	2	2	2		
	第二	200	3	3	3	3	村山	西川	53	2	2	2	2	郡	大豊	168	3	3	3	3	白鷹	西	65	3	3	3	3		
	第三	211	3	3	3	3	郡	朝日	55	4	4	4	4	米沢	川	6	2	2	2	2	置賜	東	86	3	3	3	3		
	第四	259	5	5	5	5	郡	大江	70	3	3	3	3	市	沢	40	2	2	2	2	飯豊	飯	80	3	3	3	3		
	第五	205	5	5	5	5	村山市	村山	155	5	5	5	5	市	第一	109	3	3	3	3	中津川	中	3	2	2	2	2		
	第六	264	5	5	5	5	村山市	村山	90	5	5	5	5	市	第二	161	3	3	3	3	鶴岡	第一	245	25	25	25	25		
	第七	136	3	3	3	3	東	第一	172	3	3	3	3	市	第三	128	3	3	3	3	鶴岡	第二	186	20	20	20	20		
	第八	47	3	3	3	3	根	第二	57	3	3	3	3	市	第四	168	3	3	3	3	鶴岡	第三	241	25	25	25	25		
	第九	110	3	3	3	3	根	第三	42	4	4	4	4	市	第五	101	3	3	3	3	鶴岡	第四	130	20	20	20	20		
	第十	230	3	3	3	3	市	大	30	3	3	3	3	市	第六	43	3	3	3	3	鶴岡	第五	120	10	10	10	10		
	第十一	110	3	3	3	3	市	神	136	2	2	2	2	市	第七	101	3	3	3	3	鶴岡	豊	46	5	5	5	5		
	第十二	86	2	2	2	2	尾花	福	39	3	3	3	3	市	第八	54	3	3	3	3	鶴岡	清	116	8	8	8	8		
	第十三	10	2	2	2	2	市	原	76	3	3	3	3	市	第九	80	3	3	3	3	鶴岡	島	83	10	10	10	10		
	第十四	154	3	3	3	3	尾花	尾	19	2	2	2	2	市	第十	129	3	3	3	3	鶴岡	黒	75	10	10	10	10		
	第十五	3	2	2	2	2	市	沢	20	2	2	2	2	市	第十一	115	3	3	3	3	鶴岡	引	50	5	5	5	5		
第十六	159	2	2	2	2	市	野	20	2	2	2	2	市	第十二	91	3	3	3	3	鶴岡	日	74	10	10	10	10			
第十七	18	2	2	2	2	市	盤	20	2	2	2	2	市	第十三	43	3	3	3	3	鶴岡	海	181	10	10	10	10			
第十八	171	2	2	2	2	市	子	67	2	2	2	2	市	第十四	47	3	3	3	3	鶴岡	山	85	10	10	10	10			
第十九	118	3	3	3	3	市	統	82	5	5	5	5	市	第十五	68	3	3	3	3	鶴岡	鳥	193	15	15	15	15			
第二十	28	2	2	2	2	市	合	134	5	5	5	5	市	第十六	137	3	3	3	3	鶴岡	海	193	10	10	10	10			
第二十一	198	3	3	3	3	市	合	50	3	3	3	3	市	第十七	107	4	4	4	4	鶴岡	平	162	10	10	10	10			
第二十二	107	3	3	3	3	市	合	14	3	3	3	3	市	第十八	157	4	4	4	4	鶴岡	田	102	5	5	5	5			
第二十三	156	3	3	3	3	市	合	82	3	3	3	3	市	第十九	107	4	4	4	4	鶴岡	海	46	4	4	4	4			
第二十四	153	3	3	3	3	市	合	49	3	3	3	3	市	第二十	63	3	3	3	3	鶴岡	山	57	4	4	4	4			
第二十五	133	3	3	3	3	市	合	52	3	3	3	3	市	第二十一	0	2	2	2	2	鶴岡	鳥	46	4	4	4	4			
第二十六	3	2	2	2	2	市	合	16	2	2	2	2	市	第二十二	63	3	3	3	3	鶴岡	飛	57	4	4	4	4			
第二十七	128	3	3	3	3	市	合	22	2	2	2	2	市	第二十三	0	2	2	2	2	鶴岡	遊	141	4	4	4	4			
第二十八	145	5	5	5	5	市	合	16	2	2	2	2	市	第二十四	63	3	3	3	3	鶴岡	佐	46	4	4	4	4			
第二十九	214	5	5	5	5	市	合	22	2	2	2	2	市	第二十五	0	2	2	2	2	鶴岡	遊	46	4	4	4	4			
第三十	55	3	3	3	3	市	合	22	2	2	2	2	市	第二十六	63	3	3	3	3	鶴岡	佐	46	4	4	4	4			
小計	3978	94	94	94	94	小計	1889	85	85	85	85	小計	1990	67	67	67	67	小計	3062	256	256	256	256	小計	10919	502	502	502	502

* 要項等の配付部数は、過去3年ほどの志願者数により決めている。

資料 4 - 1 - ① - 6 続き

学校総覧・学生募集要項配布先一覧

平成 26 年度 入 試 説 明 会

対象: 中学校教員

日 時	開催地区	会 場	本校出席者	備 考
9月 26日(木)	新庄市	新庄市生涯学習センター 2F 「わくわく新庄」会議室	教務主事 課長補佐	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		新庄市下金沢町15-11 Tel.0233-23-0197		
9月 27日(金)	山形市	山形むらきさわビル1F ゆうキャンパス・ステーション	教務主事 教務係長	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		山形市香澄町1-3-15 Tel.023-628-4842		
10月 3日(木)	米沢市	置賜総合文化センター 2F 201研修室	教務主事 課長補佐	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111		
10月 10日(木)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 大会議室	校長, 教務主事 部長, 学生課長 補佐, 教務係長	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024		

平成 25 年度 学 校 説 明 会

対象: 中学生及び保護者

日 時	開催地区	会 場	本校出席者	備 考
10月 13日(日)	山形市	山形むらきさわビル1F ゆうキャンパス・ステーション	寮務主事 教務係長	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		山形市香澄町1-3-15 Tel.023-628-4842		
10月 20日(日)	新庄市	新庄市生涯学習センター 2F 「わくわく新庄」音楽室	窪田教授 課長補佐	運営会議委 員
受付 9:45 開会10:00 閉会11:30		新庄市下金沢町15-11 Tel.0233-23-0197		
10月 20日(日)	米沢市	置賜総合文化センター 3F 第3会議室	学生主事 成田係員	
受付13:15 開会13:30 閉会15:00		米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111		
11月 10日(日)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 合同講義室	瀬川教授 学生課長 課長補佐	運営会議委 員
受付 9:45 開会10:00 閉会11:30		鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024		
11月 17日(日)	酒田市	酒田市総合文化センター 3F 310中会議室	渡部教授 学生課長 課長補佐	運営会議委 員
受付 9:45 開会10:00 閉会11:30		酒田市中央西町2-59 Tel.0234-24-2991		
11月 30日(土)	鶴岡市	鶴岡工業高等専門学校 合同講義室	教務主事 小野係員 課長補佐	
受付 9:45 開会10:00 閉会11:30		鶴岡市井岡字沢田104 Tel.0235-25-9024		

9/12(木)~13(金) 東北地区高専教員研究集会
 10.25(金)~27(日) 50周年記念行事・鶴峰祭
 10.19(土) 4年生保護者会
 10.13(日) ロボコン東北大会(一関)
 未定(第1希望11/5,第2希望10/21)JABEE
 10.31(木)~11.1(金) 認証評価

(出典: 学生課資料)

資料 4-1-①-7

I 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（全学科共通）

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

（出典：平成 25 年度 編入学生募集要項，p. 1）

資料 4-1-①-8

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

I. 全学科共通

- ・技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
- ・学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
- ・自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
- ・学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

III. 専攻科

- ・科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
- ・発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
- ・技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

（出典：本校ウェブページ）

（分析結果とその根拠理由）

本校では、準学士課程（編入学を含む）及び専攻科課程への入学者選抜に対する入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められており、学校総覧、学生募集要項等の資料及び本校ウェブページに明記されている。教職員に対しても各資料を配布し周知を図っており、平成24年度に実施した教職員アンケート調査の結果では、周知レベルは良好である。将来の学生を含めた社会に対しては、学校説明会、入試説明会、中学校訪問、中学生一日体験入学等で前出の資料を配布し、説明している。さらに、本校ウェブページを通じて広く社会に理解されやすい形で公表している。

以上により、教育の目的に沿って、求める学生像及び入学者選抜の基本方針等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、学校の教職員に周知されている。また、将来の学生を含め社会に理解されやすい形で公表されている。

観点 4-2-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

（観点に係る状況）

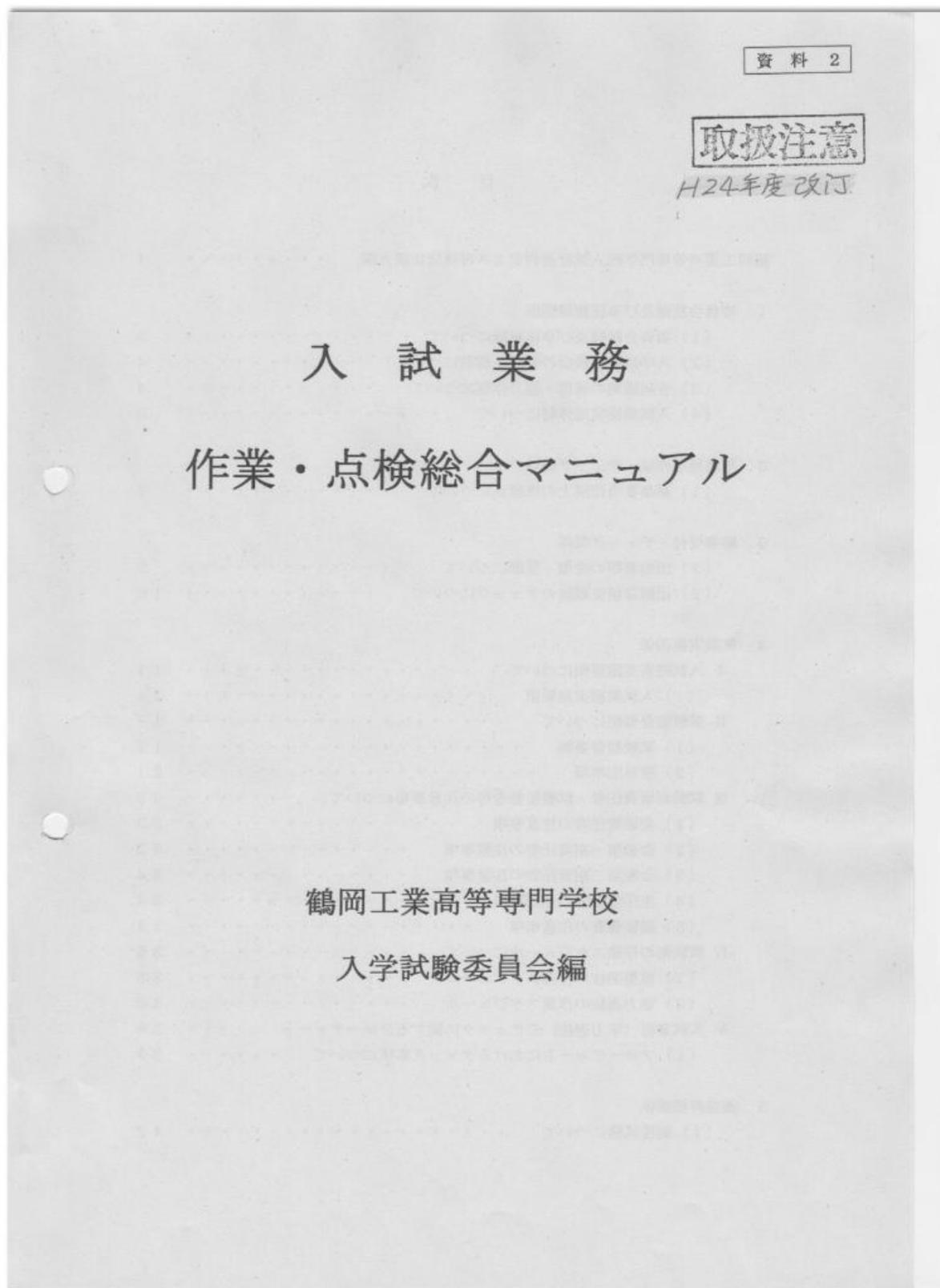
本校の全ての入学者選抜は、入試委員会が入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づいて作成した「入試業務作業・点検総合マニュアル」（資料 4-2-①-1）に従って進められ、運営会議において合否判定される。

準学士課程の入学者選抜は、「学生募集要項」に従って、推薦による選抜と学力試験による選抜の2つの方法で実施している（資料 4-2-①-2）。推薦による選抜は、各学科とも入学定員の40%程度の募集人員で、在籍中学校長の推薦書、入学志願者調査書（傾斜配点）、面接試験等を総合して行っている（資料 4-2-①-3～6）。学力試験による選抜は、学力試験及び入学志願者調査書を総合して行っている（資料 4-2-①-7～8）。学力試験は、数学、理科、国語及び英語の4教科について筆記試験を実施しており、本校全学科共通の入学者受入方針「学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人」に沿ったものとなっている（資料 4-1-①-1 参照）。

編入学生の選抜は、「編入学生募集要項」に従って、推薦による選抜と学力試験による選抜の2つの方法で実施している（資料 4-2-①-9）。推薦による選抜は、専門科目に関する口頭試問を含む面接試験、入学志願者調査書等を総合して行っている。（資料 4-2-①-10～12）。学力試験による選抜は、学力試験、面接試験、入学志願者調査書等を総合して行っている。学力試験は、A方式とB方式が設けられている。A方式は工業高等学校または高等学校の工業に関する学科卒業者を対象とし、英語、数学、専門科目の試験を行い、B方式は高等学校普通科卒業者を対象とし、英語、数学、物理または化学の試験を実施している。面接試験、入学志願者調査書の評価においては、準学士課程の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った評価をして、入学者選抜を適切に実施している（資料 4-2-①-13～14）。

専攻科課程の入学者の選抜は、「専攻科学生募集要項」に従って、推薦による選抜、学力試験による選抜、社会人特別選抜の3つの方法で実施している（資料 4-2-①-15）。推薦による選抜は、在籍高等専門学校長の推薦書、入学志願者調査書、面接試験等を総合して行っている（資料 4-2-①-16～17）。学力試験による選抜は、学力試験とTOEICスコア、入学志願者調査書、面接試験等を総合して行っている。学力試験は、数学、専門科目の試験を実施しており、専攻科課程の入学者受入方針に沿って、入学者を適切に選抜している（資料 4-2-①-18～19）。

入試業務作業・点検総合マニュアル（抜粋）



目 次

鶴岡工業高等専門学校入試合否判定ミス再発防止策大綱	1
1. 委員会組織及び事務組織関係	
(1) 委員会組織及び事務組織について	3
(2) 入学試験委員会の責任と役割について	4
(3) 各組織間の連携・協力体制について	4
(4) 入試業務実施体制について	5
2. 募集要項作成・チェック関係	
(1) 募集要項作成上の注意点について	7
3. 願書受付・チェック関係	
(1) 出願書類の受領・受理について	9
(2) 出願書類受理後のチェックについて	10
4. 試験実施関係	
I 入試業務実施要領について	11
(1) 入試業務実施要領	11
II 試験監督要領について	17
(1) 試験監督要領	17
(2) 教科別事項	21
III 試験会場責任者・試験監督者等の注意事項について	29
(1) 会場責任者の注意事項	29
(2) 会場第一副責任者の注意事項	29
(3) 会場第二副責任者の注意事項	30
(4) 主任監督者の注意事項	30
(5) 副監督者の注意事項	30
IV 試験毎の作業スケジュールについて	31
(1) 推薦選抜の作業スケジュール	31
(2) 学力選抜の作業スケジュール	32
V 入試業務（学力選抜）のチェックに関するフローチャート	34
(1) フローチャートにおけるチェック事項について	35
5. 面接評価関係	

(出典：学生課資料)

平成25年度 学生募集要項 (抜粋)

平成25年度 学生募集要項

I. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

II. 募集学科及び募集人員

募集学科	入学定員	推薦入学の募集人員は、各学科とも入学定員の40%程度
機械工学科	40名	
電気電子工学科	40名	
制御情報工学科	40名	
物質工学科	40名	
計	160名	

III. 選抜方法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力試験による選抜」の二つの方法で行います。

IV. 推薦による入学者の選抜

1. 出願資格

推薦入学を志願できる者は、次の各条件のすべてに該当すると在籍中学校長が認め、推薦した者としてします。

- (1) 平成25年3月中学校卒業見込みの者
- (2) 本校への入学意欲がかたく、人物が優れ心身の健全な者
- (3) 「学習の記録」の評定が、次の条件のいずれかを満たす者

	ア	イ
評定方法	中学校における各教科の評定が5段階の場合	中学校3年間の累積としての各教科の学習成績の総合評定が10段階の場合
推薦基準	9教科の1学年から3学年までの5段階評定合計が98以上の者	9教科の評定の合計が65以上の者

※評定方法が「ア」「イ」以外の場合は、学生課教務係へ問い合わせてください。

資料 4 - 2 - ① - 3

推薦書の書式

受験番号	※
------	---

推 薦 書

平成 年 月 日

鶴岡工業高等専門学校長 殿

中学校名

校長氏名 印

下記の者は、学業成績、人物ともに優秀であり、貴校において十分な学業を修め得る者と確信しますので推薦いたします。

記

1. 平成 年 月 日 卒業見込み

2. 氏 名

3. 生年月日 平成 年 月 日生

※印欄は記入しないでください。

(出典：学生課資料)

調査書の書式

平成25年度 鶴岡工業高等専門学校入学志願者調査書

										受験番号		※	
評定方法	5段階 10段階	推薦	第1志望	第2志望	学力	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	学力試験 受験地	鶴岡 山形 米沢		
			工学科	工学科		工学科	工学科	工学科	工学科				
よりがな					性別	現							
氏名					住所								
生年月日		平成 年 月 日生			入学 編入	平成 年 月 日 卒業 卒業見込							
各 科 の 学 習 の 記 録	第3学年の観点別学習状況				各学年の評定			2					
	観 点				評価			の総合的な 記述					
	国	国語への関心・意欲・態度			1	2	3	語学					
	語	話す・聞く能力						読書能力					
	語	書く能力						読む能力					
	語	言語についての知識・理解・技能						3					
	社	社会的事象への関心・意欲・態度						内 容 等					
	社	社会的な思考・判断・表現						活 動 の 状 況					
	会	資料活用技能						特 別 学 級 活 動					
	数	社会的事象についての知識・理解						生 徒 会 活 動					
	数	数学への関心・意欲・態度						記 録					
	学	数学的な見方や考え方						4					
	理	数学的な技能						の校外活動 スポーツ活動 文化活動 社会活動 ボランティア活動等					
	科	数量や図形などについての知識・理解						5					
	音	自然事象への関心・意欲・態度						項 目 行 動 の 状 況					
	楽	科学的な思考・表現						項 目 行 動 の 状 況					
	の	観察・実験の技能						基本的な生活習慣					
	美	自然事象についての知識・理解						健康・体力の向上					
	術	音楽への関心・意欲・態度						自主・自律					
	の	音楽表現の創意工夫						責任感					
学	音楽表現の技能						前意工夫						
習	鑑賞の能力						6						
の	美術への関心・意欲・態度						学年 欠席日数						
記	発想や構想の能力						備 考						
録	創造的な技能						1						
	鑑賞の能力						2						
	運動や健康・安全への関心・意欲・態度						3						
	運動や健康・安全についての思考・判断						7						
	運動の技能						所						
	運動や健康・安全についての知識・理解						見						
	生活や技術への関心・意欲・態度												
	生活を工夫し創造する能力												
	生活の技能												
	生活や技術についての知識・理解												
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度												
	外国語表現の能力												
	外国語理解の能力												
	言語や文化についての知識・理解												
第3学年の評定合計													
選択	学年	選択	教科	評定	学年	選択	教科	評定					
教													
科													
・													
評													
定													

上記のとおり相違ありません。

平成 年 月 日

記載者職氏名

印

学 校 名

校長名

印

(出典：学生課資料)

資料 4-2-①-5

準学士課程入学者選抜（推薦）面接評価点集計表

平成 25 年度推薦入学者選抜試験面接評価点集計表

学科名	機械工学科
面接室名	機械第 2 面接室

主任面接担当者	[Redacted]
面接担当者	
面接担当者	

受験番号	志望動機 と適性	態度と まじめさ	積極性 と意欲	合計	備考
[Redacted]	11	11	11	33	
[Redacted]	11	9	10	30	
[Redacted]	10	12	9	31	
[Redacted]	11	12	12	35	
[Redacted]	11	11	9	31	

- ① 面接評価点集計表には、面接担当者 3 名の評価点の合計を記入してください。
- ② 面接評価点集計表は、面接試験当日の 17 時まで入試委員長に提出してください。

(出典：学生課資料)

準学士課程入学者選抜（推薦）試験の合否判定

平成24年度第14回運営会議議事要旨(案)

- 日 時 平成25年1月21日（月） 15:52～16:55
- 場 所 大会議室
- 出席者 加藤校長、柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事（兼 G科長代理）、宮崎専攻科長（兼教育研究技術支援センター長）、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、竹村総合情報センター長（兼 M科長代理）、飯島FD委員会委員長、佐藤(秀)E科長、栗野B科長、吉住I科長（兼 認証評価対応委員会委員長）、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長
- 欠席者 窪田図書メディアセンター長、白野学生支援センター長、内山国際交流支援室長、澤G科長、本橋M科長、
- 陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

- (1) 平成25年度入学者選抜（推薦）試験合否判定について
- 教務主事から、本件について、本会議に先立ち開催された入学試験委員会における審議結果について資料1に基づき説明の後、校長より、次のとおり合格とする旨提案があり、審議の結果、原案どおり64名の合格が了承された。
- なお、資料1は回収された。

(出典：運営会議議事録)

準学士課程入学者学力選抜方法 平成25年度 学生募集要項（抜粋）

V. 学力試験による入学者の選抜

1. 出願資格

- (1) 平成25年3月中学校卒業見込みの者及び中学校を卒業した者
- (2) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
(学校教育法施行規則第95条各号の一に該当する者)

2. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成25年2月4日(月)から平成25年2月8日(金)まで

受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

郵送の場合も平成25年2月8日(金)必着とします。

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等は、次のとおりです。

① 入学願書 受験票 写真票	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。 写真は、正面向き上半身無帽（縦5cm×横4cm）で平成24年11月以降に撮影したものを3枚貼ってください。（写真はカラー又は白黒のいずれでも構いません。）
② 調査書	本校所定の用紙（又は同一書式で作成されたものでも構いません。）により、在籍（出身）中学校長が作成し、厳封したものを。
③ 検定料	16,500円 本校所定の振込用紙により振込願います。 出願の際は、振込金受取書を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。
④ 受験票 送付用封筒	本校所定の封筒に、出願者の郵便番号、住所（受験票の受け取り先住所）、氏名を正確に記載し、380円分の切手を貼ってください。受験票を中学校で一括して受領する場合は、8ページの「3. 出願に関する留意事項(8)」を参照してください。

注 本校に入学を志願する者で、身体に障がいがあり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者は、出願の前に学生課教務係に問い合わせてください。

- (8) 受験票を中学校で一括して受領することを希望する場合は、切手（簡易書留料金を含む。）を貼り，受信先（中学校長あて）を明記した封筒を同封してください。
なお，この場合，出願者ごとの「受験票送付用封筒」は提出する必要はありません。

4. 出願状況

願書受付期間中，毎日出願状況をホームページで公表します。

○ホームページ URL <http://www.tsuruoka-nct.ac.jp>

5. 受験票の交付

出願手続きを完了した者には、「受験票」を郵送します。

受験票が2月14日(木)までに届かないときは，本校学生課教務係に照会してください。

6. 選抜の方法

- (1) 入学者の選抜は，学力試験及び調査書を総合判定して行います。
(2) 学力試験は，理科，英語，数学及び国語の4教科について，筆記試験を行います。

7. 学力試験の日時及び会場

(1) 学力試験日時

平成25年2月24日(日)	時 間 割			
	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20
	理 科	英 語	数 学	国 語

(受付時間は，午前8時から午前8時50分まで。ただし，米沢試験場については午前8時30分から午前8時50分まで。)

(2) 学力試験会場

鶴岡試験場	鶴岡工業高等専門学校	鶴岡市井岡字沢田104
山形試験場	あこや会館	山形市松波二丁目8-1
米沢試験場	置賜総合文化センター	米沢市金池3-1-14

(出典：平成25年度 学生募集要項，pp. 6～9)

準学士課程入学者選抜（学力）試験の合否判定

平成24年度第16回運営会議議事要旨（案）

日時 平成25年2月28日（木） 14:34～16:07
場所 大会議室
出席者 加藤校長、柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、白野学生支援センター長、竹村総合情報センター長、内山国際交流支援室長、飯島FD委員会委員長、澤G科長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、栗野B科長、吉住I科長（兼 認証評価対応委員会委員長）、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長、渡部施設委員長
欠席者 佐藤（貴）地域共同テクノセンター長
陪席者 山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

(3) 平成25年度入学者選抜（学力）試験の合否判定について

教務主事から、本件について、去る2月24日（日）に実施した平成25年度入学者選抜（学力）試験の合否判定について、昨日開催した入学試験委員会における審議の結果、以下の受験番号の者を合格候補者及び補欠合格候補者とした旨、資料2に基づき説明があった。

次いで、校長から、以下のとおり入学試験委員会で決定した候補者96名を合格とし、5名を補欠合格する旨提案があり、審議の結果、了承された。

（出典：運営会議議事録）

平成25年度 準学士課程編入学生募集要項 (抜粋)

平成25年度 編入学生募集要項

I 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

(全学科共通)

1. 技術や科学に関心があり、社会に貢献する技術者への夢を抱いている人
2. 学習意欲が高く、数学、理科、国語、英語の基礎力が備わっている人
3. 自分の頭や手を使って「ものづくり」をすることが好きな人
4. 学校の「基本教育目標」を理解し、目標に向かって粘り強く積極的に行動できる人

(各 学 科)

機械工学科

- ・機械の分解、組立、改良が好きな人
- ・ものづくりの技術を習得し、良い製品を作りたい人
- ・コンピュータを使って複雑な機械を設計したい人

電気電子工学科

- ・電気製品のしくみや動作の原理に関心があり、電子工作が好きな人
- ・コンピュータが好きで、操作とそのしくみやプログラムに関心のある人
- ・発電の原理やモータに関心があり、太陽光発電や風力発電などのクリーンなエネルギーの有効利用を考えたい人

制御情報工学科

- ・メカトロニクス、ロボットおよびものづくり技術などに興味を持つ人
- ・機械、電気、制御、コンピュータなど、様々な技術を幅広く学習したい人
- ・コンピュータやインターネットの原理や利用に興味のある人

物質工学科

- ・広く化学現象や生命現象に興味・関心があり、身の回りにある物質の性質や働きを学びたい人
- ・実験が大好きで、疑問もその答えも自ら見つけようとする人
- ・資源やエネルギーに関心があり、人間と生物と環境が調和した豊かな社会づくりに貢献したい人

II 募集学科，募集人員及び編入学年

募 集 学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科	若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 工 学 科		
制 御 情 報 工 学 科		
物 質 工 学 科		

Ⅲ 選抜方法及び受験対象者

1 推薦による選抜（この要項のⅥを参照）

受験対象者：工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科（対応学科については、下記3の表の本校募集学科との対応学科を参照のこと）を平成25年3月卒業見込みの者が対象となります。

2 学力試験による選抜（この要項のⅦを参照）

受験対象者：A方式とB方式の2つの方式があります。

A方式：工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科（対応学科については、下記3の表の本校募集学科との対応学科を参照のこと）を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者が対象となります。

B方式：高等学校の普通科等を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者又はA方式の受験を希望しない者が対象となります。

3 本校募集学科との対応学科

本校募集学科	対 応 学 科
機 械 工 学 科	機械科，機械システム科，電子機械科，生産システム科等
電気電子工学科	電気科，電子科，電子システム科，電子制御科，電子工学科等
制御情報工学科	電子機械科，機械システム科，電子システム科，電子制御科，機械科 生産システム科，情報技術科，情報機械科，情報システム科 情報通信システム科等
物 質 工 学 科	工業化学科，化学工学科，素材工学科，化学技術科，環境システム科 生物環境科等

対応表にない学科については、本校学生課教務係（TEL 0235-25-9024）にお問い合わせください。

Ⅳ 選抜日程

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
推 薦 選 抜	平成24年7月17日（火） ～7月23日（月）	平成24年8月7日（火）	平成24年8月10日（金）
学 力 試 験 選 抜	平成24年11月1日（木） ～11月7日（水）	平成24年11月20日（火）	平成24年11月26日（月）

Ⅴ 出願書類等

1 出願書類

出願者は、次の書類を在籍（出身）高等学校長を通じて又は個人で提出してください。

書 類 等	説 明	推薦	学力
①編入学願書	本校所定の用紙に、必要事項を本人が記入してください。	◎	◎
②受験票・写真票	最近3か月以内に撮影した上半身無帽の写真を所定欄に貼り付けてください。	◎	◎
③調 査 書	大学入学者選抜実施要項に基づいて、高等学校長が作成し、厳封したもの。	◎	◎
④卒業見込証明書	高等学校長が作成したもの。 既卒者は卒業証明書を提出してください。	◎	◎
⑤推 薦 書	本校所定の用紙に、在籍高等学校長が作成し、厳封したもの。	◎	×
⑥検 定 料	16,500円 振込金受取書を受験票の裏面に必ず貼り付けてください。	◎	◎

VI 推薦による選抜

1 出願資格

次の各号のいずれにも該当すると在籍高等学校長が認め、推薦する者とします。

- (1) 平成25年3月に工業高等学校又は高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者
- (2) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
- (3) 志望学科への入学意志が強く、人物が優れ心身の健全な者

2 選抜の方法

編入学生の選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）、推薦書及び調査書等の総合判定により行います。

3 面接の日時及び会場

期 日	時 間	会 場
平成24年 8 月 7 日（火）	10：00～	鶴 岡 工 業 高 等 専 門 学 校

（注）試験当日は受験票を持参し、9時40分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。面接は、個人面接を行います。

4 合格者の発表

平成24年8月10日（金）午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、選抜結果通知書及び合格通知書を在籍高等学校長あて送付します。なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

5 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成24年8月22日（水）までに在籍高等学校を経て、本校学生課教務係へ提出してください。

なお、期限までに提出しない者は、推薦選抜の合格を取り消します。

6 入学手続き

入学手続きについては、「入学確約書」を提出した者に、後日通知します。

7 推薦選抜に不合格となった者の取り扱い

推薦による選抜に不合格となった者で、「学力試験による選抜」の受験を希望する者は、この要項の「VII 学力試験による選抜」の定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。この場合、「調査書」の再提出は不要ですが、検定料は必要となります。

VII 学力試験による選抜

1 出願資格

高等学校を卒業した者または平成25年3月卒業見込みの者とします。

2 選抜の方法

編入学生の選抜は、学力試験、面接及び調査書を総合判定して行います。

資料 4 - 2 - ① - 9 続き

3 学力試験科目

科目	志望学科	A 方 式 照		B 方 式 照			
		(Ⅲ の 2 参 照)	試験時間	配点	(Ⅲ の 2 参 照)	試験時間	配点
一般 科目	各 学 科 共 通	英語 (英語 I, 英語 II)	60 分	100 点	英語 (英語 I, 英語 II)	60 分	100 点
		数学 (数学 I, 数学 II)	60 分	100 点	数学 (数学 I, 数学 II)	60 分	100 点
専 門 科 目	機 械 工 学 科	機械設計	各 120 分	各 200 点	物理 I	120 分	200 点
	電 気 電 子 工 学 科	電気基礎					
	制 御 情 報 工 学 科	機械設計又は電気基礎 (情報技術を含む。)のいずれかを選択 *					
	物 質 工 学 科	工業化学			化学 I (ただし、問題の一部は、化学 I 又は生物 I のいずれかを選択できます。)	120 分	200 点

注 英語 I, 英語 II, 数学 I, 数学 II, 物理 I, 化学 I (生物 I) の範囲及び程度は、高等学校学習指導要領に記載されている内容です。

* 科目名は同じでも、制御情報工学科独自の試験問題です。

4 学力試験・面接の日時及び会場

期 日	A 方 式		B 方 式		会 場
	英 語	9:40~10:40	英 語	9:40~10:40	
11月20日(火)	数 学	11:00~12:00	数 学	11:00~12:00	鶴岡工業高等専門学校
	専 門	13:00~15:00	物理 I 又は 化学 I	13:00~15:00	
	面 接	15:20~	面 接	15:20~	

(注 1) 試験当日は受験票を持参し、9時20分までに受付を終了し、所定の控室で待機してください。

(注 2) 学力試験中に使用できる物は、次のとおりです。

筆記用具 (黒鉛筆, シャープペンシル), 鉛筆削り, 消しゴム, 定規, 電卓 (数学の試験の際は使用不可) 及び腕時計

(注 3) 学力試験室に持ち込めない物は、計算機能や英語単語表示機能のある腕時計, 携帯電話等の通信機です。

(注 4) 面接は、個人面接を行います。

5 合格者の発表

平成24年11月26日 (月) 午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、本校ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。また、選抜結果通知書及び合格通知書を在籍高等学校長あて (既卒業生については本人あて) 送付します。

なお、電話等による合否の照会には一切応じられません。

資料 4-2-①-10

準学士課程編入学生 推薦選抜基本方針(抜粋)

取扱注意

編入学生選抜（推薦）の基本方針

1. 入学者の選抜は、面接（物理・化学を入れた専門科目に関する口頭試問を含む。）及び調査書等の総合判定により行う。

(出典：学生課資料)

資料 4-2-①-11

準学士課程編入学生選抜（推薦）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望学科名（物質工学科）

面接責任者氏名

受験番号	評 価				備 考
	人 物	意 志	適 性	計	
	15	15	11	41	

(注) 計欄は、45点満点とする。

(出典：学生課資料)

準学士課程編入学生選抜（推薦）試験の合否判定

平成24年度第7回運営会議議事要旨（案）

日 時 平成24年8月8日（水） 10:10～10:42

場 所 大会議室

出席者 加藤校長、柳本教務主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、竹村総合情報センター長、白野学生支援センター長、内山国際交流支援室長、飯島FD委員会委員長、澤G科長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長、栗野B科長、落合事務部長、黒田学生課長

欠席者 江口学生主事、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、土門総務課長

陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議 題

1. 協議事項

(1) 平成25年度編入学生選抜（推薦）試験の合否判定について

教務主事から、昨日行われた平成25年度編入学生選抜（推薦）試験について、制御情報工学科4名、物質工学科1名の受験者があった旨報告の後、資料1に基づき、入学試験委員会における合否判定案について、制御情報工学科においては、受験番号1, 2, 3の3名を、物質工学科においては、受験番号11番の1名を、それぞれ合格としたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり4名の合格が了承された。

なお、資料1は回収された。

（出典：運営会議議事録）

準学士課程編入学生選抜（学力）面接評価結果表

様式 2

面接調書集計表

志望学科名（物質工学科）

面接責任者氏名



受験番号	評 価				備 考
	人 物	意 志	適 性	計	
	8	10	10	28	
	7	7	6	20	

（注）計欄は、30点満点とする。

（出典：学生課資料）

準学士課程編入学生選抜（学力）試験の可否判定

平成24年度第11回運営会議議事要旨（案）

日時 平成24年11月21日（水） 16:05～16:12
場所 大会議室
出席者 柳本教務主事、江口学生主事、佐藤(浩)寮務主事、宮崎専攻科長（兼 教育研究技術支援センター長）、窪田図書メディアセンター長、竹村総合情報センター長、白野学生支援センター長、飯島FD委員会委員長、本橋M科長、佐藤(秀)E科長、吉住I科長（兼 認証評価委員会委員長）、栗野B科長、落合事務部長、土門総務課長、黒田学生課長
欠席者 加藤校長、佐藤（貴）地域共同テクノセンター長、内山国際交流支援室長、澤G科長、
陪席者 川上総務課課長補佐（総務担当）、山口総務課課長補佐（財務担当）、鈴木学生課課長補佐

議事に先立ち、柳本教務主事から、校長が公務出張のため、議長を代行する旨述べられた。

議 題

1. 協議事項

(1) 平成25年度編入学生選抜（学力）試験の合格判定について

教務主事から、本件について、本会議に先立ち開催された入学試験委員会の審議結果について、資料1に基づき説明の後、次のとおり合格とする旨提案があり、審議の結果、原案どおり4名の合格が了承された。

なお、資料1は回収された。

- ・機械工学科 受験者数2名のうち、受験番号102の1名を合格
- ・電気電子工学科 受験者数2名のうち、受験番号201の1名を合格
- ・制御情報工学科 受験者数1名のうち、合格者なし
- ・物質工学科 受験者数2名のうち、受験番号401、402の2名を合格

以上4名を合格

（出典：運営会議議事録）

平成 26 年度 専攻科生募集要項 (抜粋)

平成 26 年度 鶴岡工業高等専門学校専攻科学生募集要項

I 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

1. 科学技術への関心が高く、研究に対して意欲がある人
2. 発想に独自性があり、チャレンジ精神に富んだ人
3. 技術や科学の専門基礎力を有し、より高度で実践的な技術の修得を目指す人

II 募集人員

専 攻	入 学 定 員
機 械 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻	12名
物 質 工 学 専 攻	4名

III 選抜方法

1. 高等専門学校長の推薦による選抜
2. 学力試験による選抜
3. 社会人特別選抜

IV 選抜日程

選 抜 区 分	出 願 期 間	選 抜 期 日	合 格 発 表
高等専門学校長の推薦による選抜	平成25年 5月13日(月) ～ 平成25年 5月17日(金)	平成25年 5月28日(火)	平成25年 5月31日(金)
学力試験による選抜	平成25年 6月10日(月) ～ 平成25年 6月14日(金)	平成25年 7月17日(木)	平成25年 7月22日(月)
社会人特別選抜	平成25年 6月10日(月) ～ 平成25年 6月14日(金)	平成25年 7月17日(木)	平成25年 7月22日(月)